

今年度の予算はこのように活かされています

平成19年度がスタートして、半年が経過しました。勝山市では、この上半期に様々な事業に取り組んでいますが、その中から、市民の皆さんの身近な所で具体的に形ができたものや、取り組んでいるものをいくつか取り上げてご紹介いたします。

平成19年度上半期事業から



排水溝整備などの工事が進む長山公園グラウンド

長山公園リフレッシュ事業

これまで大雨が降った時など他のグラウンドは利用できるのに、長山公園グラウンドは水はけが悪くて利用できないといったことがよくありました。このため、約6340万円かけて地中に排水パイプをくし状に並べ、砂利を入れて表土を敷いたり、グラウンド全周に水路を設置したりするなどして、長山公園グラウンドの水はけを良くしていきます。

また、ダッグアウト（ベンチ）も整備され、記録席も設けられます。工期は来年の3月25日までとなっています。

【担当】建設部 建設課



幼稚園給食推進事業

幼児期から郷土食になじませ、地産地消や食育を進めようと、今年度より小学校で調理した温かくておいしい学校給食を幼稚園に運搬することになりました。

勝山中部幼稚園では、この4月から、村岡小学校の給食配送を始めました。そして、6月には成器南幼稚園でも成器西小学校からの給食配送が開始されました。これにより、幼稚園ではお弁当の日を除く平日の毎日、学校給食が配送されています。

成器西小学校から成器南幼稚園へ給食を運搬するために運搬専用車両を約110万円で購入しました。また、成器南幼稚園に運搬専用車両のカーポートを約46万円で購入しました。

【担当】教育部 教育総務課



配送された給食をおいしく食べる成器南幼稚園児

高規格救急自動車および高度救命処置用資機材の整備

救急出動件数が年々増加し、救急処置は高度化しています。このような状況の中、救命率の向上を図るため、高度な救命処置用資機材を積載した高規格救急自動車を導入して救急業務の充実強化を進めています。

このたび購入する高規格救急自動車は、救急活動を円滑に行うため、特に患者室内を大幅に拡大し、様々な応急処置ができる構造となっています。

また、高度救命処置用資機材では、走行中の振動を和らげ、傷病者への負担を軽減する防振ベッドを備え、AED（自動体外式除細動器）や薬剤投与のための輸液用資機材、呼吸管理用資機材を一式購入します。

これらの購入に要する費用は約2500万円です。

【担当】消防署 警防課



導入される予定の高規格救急自動車

※カタログよりイメージを引用。実際に納入されるものとは異なります

中学校教育用コンピュータの整備

平成13年に市内各中学校のコンピュータ教室に設置された教育用コンピュータが6年を経過しました。

これまでのパソコンは、授業でマルチメディアに対応するために画像処理を行うと画面がよくフリーズ（動かなくなる）しました。」と担当教諭の話。

DVDに対応し、ビデオやデジタルカメラのデータ編集などが可能なパソコンを各校41台、計123台を新しく入れ替えました。また、A2版ポスターが印刷できるカラープリンターも合わせて配備。5年リースの月額額は、約49万円です。

【担当】教育部 教育総務課



新しいパソコンで技術の授業を受ける中学生

メタボリック対策などの健康管理のために、多くの市民のかたが利用している弁天緑地のウォーキングコースに、夜間などでも安心安全に利用していただくための照明灯を設置しています。

今年度は、約450万円をかけて、勝山橋東詰めの下流側約60メートルの箇所から、下流に向かってほぼ60メートルの間隔で照明灯を4基設置します。

また、弁天緑地公園等に安らぎの場を提供しようとウォーキングコースに沿って順次ベンチを設置していきます。

【担当】建設部 建設課



(右) ジョギングコースから6メートルの高さに照明がつけられる (左) 九頭竜川を臨むように、大人3人が座れるベンチが設置される

平泉寺荘バス停設置



平泉寺荘の前にはきたバス停

産科診療提携で交通費助成

福井社会保険病院と福井大学附属病院が、4月1日から開始した産婦人科の診療提携を支援するため、勝山市では、出産および妊婦健康診査に伴う交通費の助成制度を5月1日からスタートさせています。

助成を受けられるのは、勝山市内に住所があり、妊娠23週まで福井社会保険病院で定期の妊婦健診を受け、タクシーや公共交通機関、自家用車などを利用して県内の医療機関で妊婦健診や出産を予定されるかたです。

助成額については、タクシー利用の場合、妊婦1人につき1往復分を限度に片道1万円まで助成されます。

また、バス・鉄道などの公共交通機関等の利用では必要に応じた回数分の交通費実費相当が助成されます。

さらに、自家用車の利用については、必要に応じた回数分の燃料費相当が助

多くの市民のかたが利用される平泉寺荘は、車の運転ができないかたの場合、コミュニティバスや平泉寺荘線を利用されています。

その平泉寺荘バス停はこれまで野ざらしでしたが、平泉寺荘利用者の利便を図り、多くのかたがたに公共交通機関を利用していただくために、約140万円バス待合所を設置します。

工期は10月19日です。

【担当】市民・環境部 生活環境課

成されます。

予算は45万円で、これまで11人のかたが、この制度の利用申請をされました。最初にこの制度を利用された田中佐奈恵さんからは、「少しでも助成していただき助かりました。私は福井大学の附属病院で出産しました。自家用車を利用しましたが、安心して移動できるように、公共交通機関を利用するための情報提供もしていただければありがたいです。」と制度についての感想がありました。

【担当】健康福祉部 健康長寿課



3人目の赤ちゃんを抱き喜びの田中さん

なお、歴史的まちなみ景観創出事業およびまちづくり交付金事業については、号を改め特集を組み紹介させていただきます。

【問】秘書・広報課 ☎88・1114